

大極殿復原工事の一般公開

去る4月28日(金)から30日(日)の3日間、第一次大極殿正殿の復原工事現場において一般公開がおこなわれました。この一般公開は2004年からおこなわれており、今回で4回目となります。

今回公開されたのは初重全体と、その上に立つ二重目の柱および組物の状況です。初重は既に屋根の部分がほぼ完成しており、あとは瓦を葺くばかりとなっています。また、天井部分を見上げると一面の天井格子の中に美しく彩られた蓮華の彩色画を見ることができます。二重目はまだ柱を立てたばかりの状況ですが、今後これらの上にも様々な部材が組み上げられていくことによって、立派な屋根となることでしょう。

初日の28日の午前中は近隣住民の方々および関係者への内覧がおこなわれ、一般の方々へは28日の午後から公開がおこなわれました。また、29・30日の両日は平城宮跡内にて「なら遷都祭」が開催されていたことも重なって、3日間で実に20,731人もの方々が見学に訪れました。そのため、多少混雑した時間帯もありましたが、なにぶん大極殿が非常に大きな建物であるため、比較的ゆったりと見学できたのではないのでしょうか。

大極殿の復原事業は文化庁により実施され、その完成は2010年予定です。復原工事もようやく折り返し地点を過ぎたところだと言えます。完成までまだ4年もありますが、その間には折に触れ、このような一般公開によって、大極殿が築かれていく様を皆様にご覧頂けると幸いです。

(都城発掘調査部 林 正憲)



大極殿一般公開風景